

AI と半導体で加速するベトナムの技術戦略と国際協力

2025 年 3 月 31 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

AI と半導体で加速するベトナムの技術戦略と国際協力

2025 年、ベトナム政府とアメリカの Aitomatic 社が共催した国際会議「AISC 2025」は、ベトナム国内で開催された AI と半導体をテーマとした重要な国際イベントである。ベトナム商工省をはじめとする政府機関や地方政府、さらに世界の主要テクノロジー企業の代表者を含む 1,000 人以上が参加し、ベトナムの技術分野における地位向上と国際連携の強化を目的として開催された。

開会式では、ベトナム国家イノベーションセンター（NIC）のグエン・ヴァー・クオック所長が、AISC 2025 が東南アジアのテクノロジー競争におけるベトナムの存在感を示す機会になると強調した。また、ベトナム政府の技術開発に関する方針として、科学技術・デジタル化・イノベーションを柱とする「第 57 号決議」を挙げ、ベトナム企業の成長支援に全力を挙げる姿勢を示した。

米国の Aitomatic 創業者であるクリストファー・グエン博士も、ベトナム政府の AI と半導体分野への積極的な取り組みが国際的に注目されていると述べ、同国の安定した政治体制や優れた地理的条件が、ベトナムをグローバルなハイテク産業の戦略拠点として位置づけていると評価した。

会議では、ベトナム企業のイノベーション促進やグローバルサプライチェーンへの参画強化を目的に、オープンソース AI やチップ開発の最前線技術の共有が行われた。たとえば VPBank は、AI を中核に据えたデジタルエコシステムを形成し、BE などのベトナム企業が AI 技術を活用して多機能なサービスを提供している例も紹介された。

さらに、スタートアップ支援企画「Startup Pavilion」では、ベトナム国内の技術系スタートアップが国際的な投資家に直接アイデアを発表し、資金調達や国際展開への足がかりを得る機会も設けられた。これにより、ベトナム国内の技術力と企業の潜在力が世界に示され、今後の半導体・AI 分野での国際的地位向上が期待されている。

以上